

USB MOドライブ「UMO-2300LC-USB」を発表 ～根強いニーズにお応えして、最新 OS に USB で接続できる 2.3GB MOドライブ登場～

株式会社ユニテックス(本社:東京都町田市、代表取締役社長:土田義徳)は、3.5 インチ MOドライブ「UMO-2300LC-USB」を発表します。

「UMO-2300LC-USB」は、最大 2.3GB までの大容量光磁気(以下 MO)メディアをサポート、128MB から 1.3GB までの既存メディアへの読み書きも可能です。Windows8、Windows Server 2012、Mac OSX 10.10、Red Hat Enterprise Linux 7 へ対応することにより、MOメディアに保存されているデータを有効活用し、最新環境への移行ができます。

また、自社開発によるインタフェース変換技術を用いることで、USB2.0/1.1 に対応しており、OS 標準ドライブで動作が可能です。

丈夫な一体型アルミボディの採用により、持ち運びは安心・手軽になり、添付品のスタンドにより縦置きでも安定して使用できますので、設置場所を選ばず垂直/水平設置をご選択いただけます。

MO メディアは、以下の特長があります。

- ・ カートリッジに収められていることで、傷や埃によるダメージを受けにくい
- ・ 記録膜に保磁力の高い材料が使用されている為、磁界に強い
- ・ メディアに対するダメージが小さく耐久性が高い



【主な特長】

- Windows、Mac OSX、Linuxマルチプラットフォーム対応
- USB2.0/1.1接続
- カートリッジの堅牢性
- OS標準ドライブで動作
- 長期にわたる安心の保守メニュー

【製品概要】

型名	UMO-2300LC-USB	
ドライバメーカー	富士通株式会社	
インタフェース	USB2.0 High-Speed(従来のUSB1.1にも対応)	
コネクタ形状	Type B×1	
対応メディア	2.3GB/1.3GB/640MB/540MB/230MB/128MB	
回転速度	6,094rpm	
連続データ転送速度	USB2.0:MAX480Mbps USB1.1:MAX12Mbps	
バッファメモリ	7,600KB	
対応 OS	Windows	Windows XP、Windows 7、Windows 8.1 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 R2
	Mac OSX	OS X 10.8、OS X 10.9、OS X 10.10
	Linux	Red Hat Enterprise Linux 6(x64)、Red Hat Enterprise Linux 7(x64)
電源	AC100V±10% 50/60Hz、ACアダプタ	
最大消費電力	20VA	
温度/湿度(動作時)	+10℃～+35℃/20%～80%(結露なきこと)	
外形寸法(mm)	31(W)×205.5(D)×120(H) ※縦置き時、本体のみ(突起部/スタンドを除く)	
質量	780g(本体のみ)	
添付品	USBケーブル※1、ACアダプタ、縦置用スタンド、 イジェクトピン、セットアップガイド、保証書	
発売日	2015年3月9日	

※1 同梱しているUSBケーブルの使用を推奨いたします。

【標準価格】

標準価格	オープン価格
目標販売数	1,000台

【本件に関するお問い合わせ】

一般	株式会社 ユニテックス 営業本部 Tel.(042)710-4630 E-mail. sales@unitex.co.jp
報道関係	株式会社 ユニテックス プレス担当 Tel.(042)710-4630 E-mail. news@unitex.co.jp

【当社の会社概要】

本社	東京都町田市中町 2-2-4 ユニテックスビル
代表者	代表取締役社長 土田 義徳
資本金	9,000万円
設立	1990年
事業内容	金融システムソリューションの開発・販売 メインフレーム・テープ&ストレージの開発・販売 コンピュータストレージの開発・販売 ソフトウェア開発
URL	http://www.unitex.co.jp